INFORMATION

イベント **維新ふるさと館×西郷南洲顕彰館**

歴史フォーラム開催

●明治維新の庶民への影響にスポットをあてた

11月27日(日)、サンエールかごしまにて、「庶民にとっての明治維新とは?～明治維新と郷土の人々～」をテーマに歴史フォーラムを開催しました。今回は維新ふるさと館と西郷南洲顕彰館の初めての合同企画で、326名が来場しました。

基調講演では、鹿児島県知事公室政策調整課専門員の吉満庄司氏が、「明治維新と市井の人々」と題し、農村や城下、離島の庶民生活に明治維新がどのような変化をもたらしたのかを詳しく解説。

第二部のフォーラムでは、西郷南洲顕彰館館長の徳永和喜氏、維新ふるさと館特別顧問の福田賢治をまじえ、明治維新の捉え方、薩摩の武士や庶民の教育について、また、調所広郷の財政改革などについてもそれぞれの立場から解説しました。

1月、2月の土・日・祝はテラスにて
維新ふるさとCAFÉをオープン
薩摩スチューデントコーヒーをご堪能ください☆

維新ふるさとショップ

2016かごしまの新特産品コンクール4社入賞

多様化する消費者ニーズに対応した特産品づくりを促すため、県や鹿児島市、県特産品協会が毎年開催しているこのコンクール。今回は、維新ふるさとショップに出品している4社が入賞しました。

鹿児島県特産品協会理事長賞
(株)美の匠ガラス工房弟子丸
「薩摩切子のかごPin」

日本百貨店協会会長賞
鹿児島琉球漆器(和くら)
「薩摩白箸・薩摩黒箸」

鹿児島県観光連盟会長賞
世紀産業
「鹿児島シナモン紅茶」

奨励賞
御茶碗屋つきの虫
「solosolo teacup」

薩摩白箸・薩摩黒箸とシナモン紅茶は当館でも好評発売中です。ぜひこの機会に足をお運びください。

温故地新 故(ふる)きを温(たず)ね、地元を新たに。

■薩長同盟・坂本龍馬新婚旅行150周年記念シンポジウム

維新ふるさと博初日の10月23日(日)、シンポジウムを開催。講談師の一龍齋貞弥氏のオリジナルの講談や、一龍齋氏、かごしま探検の会の東川隆太郎氏、薩摩観光維新隊の篤姫、当館特別顧問の福田賢治によるパネルディスカッションなど、明治維新を様々な角度からお楽しみいただきました。

●講談も好評だった

■維新の調べ
～音楽で辿る薩摩スチューデントの足跡～開催♪

命がけで渡航した留学生たちに思いをはせながら…彼らが聴いたであろう音楽を聴き、飲んだであろうコーヒーを飲み、歴史を学ぶコンサートを10月29日(土)開催。鑑賞されたお客様からは、「素晴らしい音楽と歴史のお話で150年前の世界にタイムスリップしたような気分です」「音楽という側面から歴史を学べる貴重なコンサートでした」等、大好評でした。

●120人余りが来場

■2017年も初笑いは加治屋町から!

維新ふるさと館新春寄席、前売り券好評発売中!今回のテーマは「パリ万博」。ご来場をお待ちしています。

●今回で5回目の開催

明治維新を分かりやすく、楽しく
ISHIN 維新
維新ふるさと館情報紙
【No.20】
■平成29年(2017年)冬季号
■発行:鹿児島市維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800
http://www.ishinfurusatokan.info

偉人を多数輩出 三方限(さんぼうぎり)

維新を歩く

三方限出身名士顕彰碑(鹿児島市高麗町) 画/大園 康広

甲南中学校の校庭内に、立派な「三方限出身名士顕彰碑」が建っている。かつて、ここには荒田小学校があった。当時の文豪徳富蘇峰が書いた碑文にも、「一大記念碑ヲ荒田小學校ノ正門二建設シ、之ヲ後世二傳ヘント欲シ‥」と記されている。

藩政時代には、上之園町、高麗町、上荒田町一帯は「三方限」と呼ばれ、四百戸余りの下級武士の屋敷があった所である。「方限」とは地域のことを指し、当時は甲突川を境に、鶴丸城のある左岸(川内(かわうち))に武家屋敷が集中しており、右岸(川外(かわそと))には禄高の低い貧しい下級武士の屋敷が配置されていた。

三方限の人は、貧しい中にも自ら進んで郷中教育に学問の道を求め、心身の修養に努めた者が多かった。

この顕彰碑は、幕末から明治という激動の時代に活躍した三方限出身者48人の名士を顕彰したもので、後の三方限に育つ若者たちが、先人をしのび、将来有能な人材として活躍することを期待し、昭和10年4月に建立された。碑石は遠く瀬戸内海の小豆島から取り寄せられ、台石は西郷と月照が入水した吉野町三船から運ばれた。

出身者名士には西郷隆盛、大久保利通の名前も見える。大久保は高麗町に生まれ、幼少時に加治屋町に移り住んだ。西郷は島津斉彬に抜擢され江戸へ行ったが、その間に加治屋町の屋敷は借金のため人手に渡り、一家は上之園(現共研公園入口に居宅跡の碑)へ移り、借家住まいとなったことから、西郷・大久保の両名も三方限出身者として名を連ねている。

そのほか政界で活躍した吉井友実、海江田信義、大山綱良、三島通庸、薩藩留学生の吉田清成・長沢鼎、集成館事業の中心人物中原猶介(なおすけ)、井伊大老の首を取った有村次左衛門、軍人の川村純義、野津鎮雄・道貫兄弟、高島鞆之助、井上良馨(よしか)、辺見十郎太など、日本の歴史に名を連ねる人名がずらりと並ぶ。

激動の時代に生きた個々の人生を思うと悲喜こもごもで、感慨深いものがある。

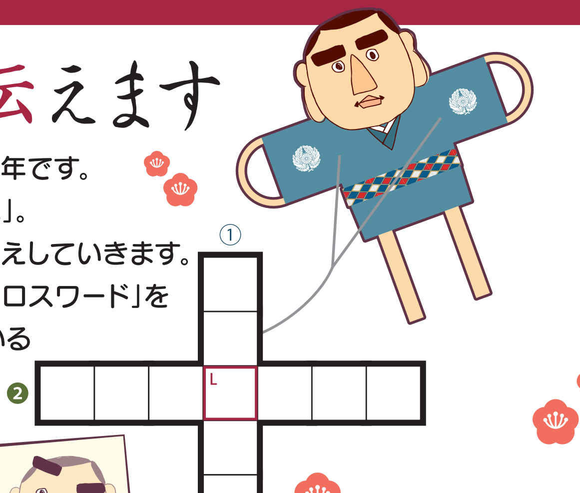
(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)

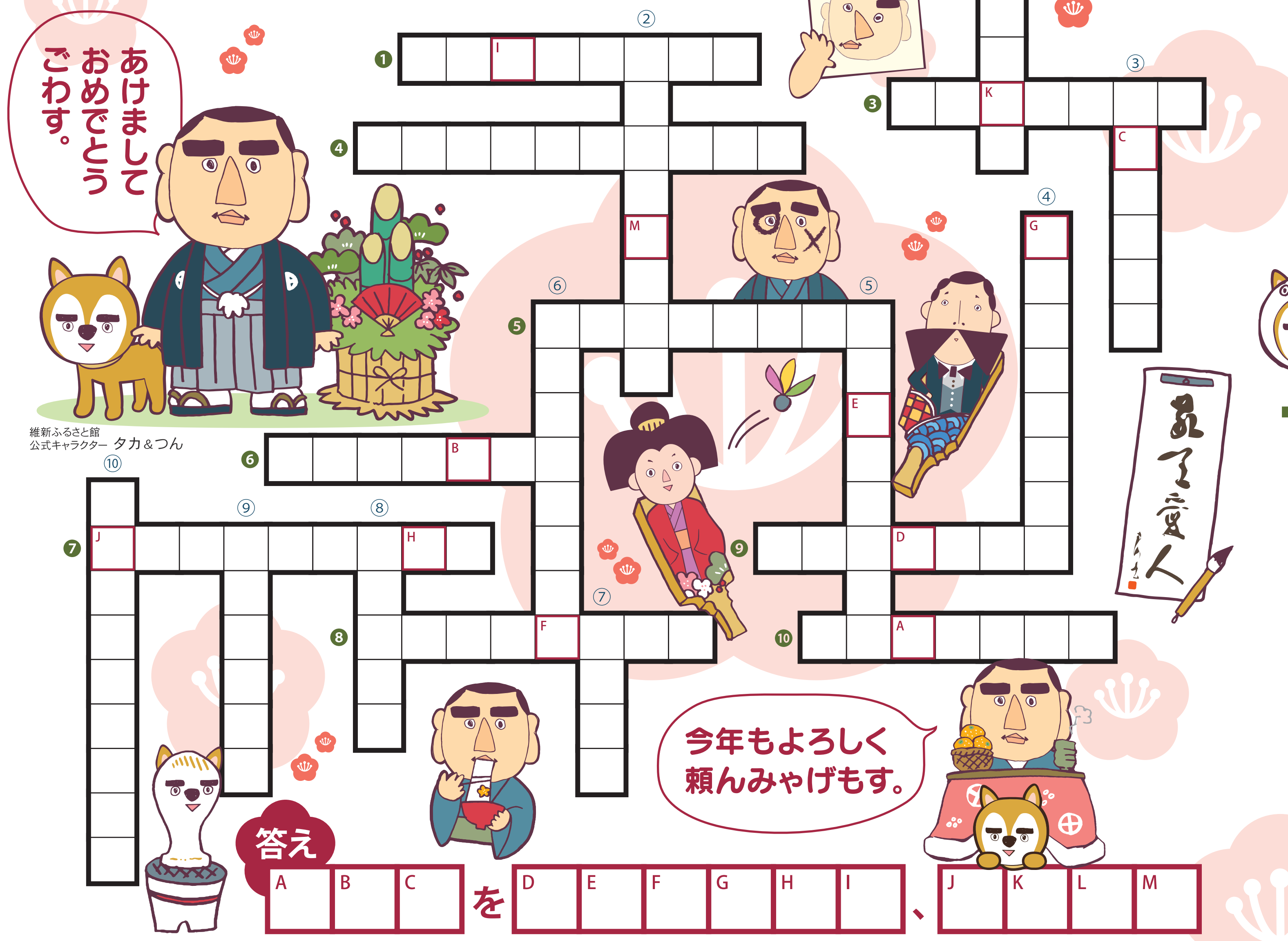
維新ふるさと館 明治維新偉人クロスワード

維新伝心

維新の心を伝えます

いよいよ、明治維新150年まであと1年です。
維新ふるさと館は、今年も「維新伝心」。
維新の心を分かりやすく、楽しくお伝えしていきます。
早速、新春特別企画「明治維新偉人クロスワード」を
お楽しみください。当館で紹介している
幕末・明治の郷土の偉人などの
人名からの出題です。正解者には
抽選で素敵なお年玉をプレゼント。





【タテのカギ】

① 薩摩藩英国留学生の一人で、公務中にパリで亡くなった外交官。
② 習志野演習場の名前のもととなり、赤マントで西南戦争に参加した近衛兵。
③ 中央公園前の西郷銅像を制作した鹿児島出身の彫刻家。
④ 日露戦争時の海軍大臣で、二度の首相を経験した人は誰でしょう。
⑤ 日銀を創設し、二度も総理大臣を経験した苦労人。
⑥ 「うどめさあ」と呼ばれ、犬の大好きな薩摩を代表する人物。
⑦ 指宿領主であった島津氏の一員で、将軍の正室となった女性。
⑧ 明治天皇の後を追って殉死した夫に従い命を絶った女性。
⑨ 薩摩辞書作成にかかわり、明治維新後の産業発展につくしました。
⑩ 薩摩藩英国留学生の一人で、東京開成学校（現在の東京大学）の初代校長。

【ヨコのカギ】

❶ 西郷とともに明治維新で活躍した鹿児島出身の維新三傑の一人。
❷ 西南戦争で桐野・篠原とともに亡くなった岩倉欧米使節団の一員。
❸ 「人斬り半次郎」の異名で知られた吉野出身の熱血漢。
❹ 加治屋町の中央高校近くに生まれて、ロシアのバルチック艦隊を破った海軍軍人。
❺ 霧島に日本初の新婚旅行で訪れた土佐出身のさむらい。
❻ 西郷との会談で、江戸城を無血開城し江戸を戦火から救った幕府の役人。
❼ 追手門学院の前身となる偕行社附属小学校を創設した、上之園出身の軍人。
❽ 集成館事業など、薩摩の近代化につくした幕末の名君。
❾ イギリス留学後アメリカに移住、ワイン王といわれました。
❿ 西郷の実名を父親と間違えて「隆盛」と名付けたと言われる昔からの友人。

【応募方法】
①FAXかハガキで応募 ▶ ②答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入（記入漏れは無効） ▶ ③維新ふるさと館宛に送る

【応募締切】
平成29年1月22日（日）必着

【送り先・問い合わせ】
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23-1
鹿児島市維新ふるさと館
TEL 099-239-7700 / FAX 099-239-7800
※応募いただいた方の個人情報は、景品の抽選・発送のみに使用いたします。

今回のイチオシ

西郷の肖像画

西郷は写真を残さなかったというのが研究者の間の定説です。「写真が好きでなかった」ので、明治天皇から写真を求められても「陛下それだけは」と断ったとか、大久保利通の写真を見て酷評したなどのエピソードが残っています。また、兄弟はじめ志半ばで亡くなった多くの知友を思うと、自分の姿を後世に残すことなどできなかったと言うこともあるでしょう。

今回は四人の肖像画を取り上げます。まず「床次正精」の洋画です。鹿児島出身の正精は記憶を基に、山下房親や知人の批評を取り入れ、昼夜兼行で描き上げ、西郷従道、黒田清隆らの激賞を得たと言われています。

ついで「石川静正」です。静正は、菅実秀と西郷をたずねた庄内藩士です。西郷の真像を残すために、佐藤努らの協力を得て作成、西郷寅太郎やイト夫人からもよく似ているとほめられています。

次は「大牟礼南塘」です。種子島出身で二中（現在の甲南高校）の美術教師であった大牟礼は、西郷没後五十年祭に当たり、肖像画を依頼されました。西郷の風貌を研究して、菊次郎の嫡子隆治をモデルにしたと言われます。東郷平八郎や西郷家の親類からも似ていると好評を受けました。

最後に「佐藤均」です。仙台出身の画家であった佐藤は、石川の原画を基に、手本を作成しました。その後それを基に大正十二年にも肖像画を描き、樺山資紀の嫡子愛輔から島津家に寄贈されました。いずれも、関係者によく似ていると言われており、西郷の風貌を窺わせるものとなっています。

●床次正精 画（鹿児島市立美術館蔵）

●石川静正 画（山形県鶴岡市 石川家蔵）

●大牟礼南塘 画（池畑幸蔵氏蔵）

●佐藤均 画（尚古集成館蔵）